５．緊急時の対応

【前提】重症など一刻を争うときは、現場判断が優先される場合があります

■必ず本部へ連絡してください　※携帯電話（無線）で対応お願いします

**⇩状況報告**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⇧指示

|  |
| --- |
| 現場スタッフ／エリア責任者／救護担当者 |
| 携帯電話を使用／つながらない場合は無線本部 ： 大山　悠　０８０－８２１７－３２５０・対応指示（救護方法/搬送方法/大会継続）・消防本部（119） ・新庄警察署（０２３-６２７-０１１０）　 |

■傷病者への対処

①軽度の場合（自力での移動が可能）

・本部にて応急処置　（場合に応じてスタッフ等が付き添う）

②中程度の場合（自力での移動が一時的に困難、意識はある）

・応急処置　→　本部へ搬送（複数のスタッフで対応）　→　救急車の手配が必要か判断

③重度の場合（痛みや出血がひどい、意識が無い）

・応急処置　→　本部へ搬送（複数のスタッフで対応）　＆　救急車手配　→　救急搬送

**予想される傷病と対処法**

1. 捻挫・骨折　　テープ・三角巾

・痛みが悪化しないようにテープや三角巾で固定

1. 切傷・擦傷　　三角巾・ガーゼ・水

・傷口は水で洗い流す　・布などで直接圧迫して止血　・心臓より高い位置へ

1. 脱水症状　　水

　　・水分補給

1. 低体温症　　防寒シート・防寒着

　　・雨雪の当たらないところへ移動　・シートや防寒着で保温

1. 過呼吸

　　・安静な姿勢をとる　・落ち着かせ、深呼吸

1. 心肺停止　　　AED

　　・胸骨圧迫（繰り返す）　・AEDの手配



※呼吸がなければすぐに胸骨圧迫開始！胸骨圧迫は深さ5㎝程度リズム100回/分以上を絶え間なく続ける事！

※AEDが近くに無い際も⑤までの対応をお願いします